

心臓血管外科手術後の人工膵臓使用による 創部感染症予防についての検討

1. 研究の対象

2021 年 1 月～2022 年 12 月に当院で心臓血管外科手術を受けられた成人の方が対象です。

2. 研究目的・方法

心臓血管外科手術後の創部感染症は、その後の長期予後に悪影響することが知られています。様々な要因が指摘されていますが、このうち手術後の高血糖は、創部の治りを遅延させ、創部感染症のリスクとなることが分かっています。このため手術の急性期は、従来はインスリンを静脈点滴ラインから持続的に投与することで、血糖値を管理していました（インスリン持続静注療法）。

人工膵臓は、血糖値の測定とインスリンの注入を全自動で行う装置で、インスリン持続静注療法よりも厳密な血糖管理を行います。しかしこの装置による患者さんへの実際の効果ははっきりしていません。

この研究では、これまでの手術後に、人工膵臓で血糖管理を行った患者さんの群と、従来のインスリン持続静注療法で血糖管理を行った患者さんの群とで、創部感染症の発生頻度を比較します。人工膵臓による厳密な血糖管理が、インスリン持続静注療法と比べて創部感染症の予防につながるかどうかを検討します。

研究実施期間：研究実施許可日～2024 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、合併症、実施した手術名、採血データ等（血糖値、クレアチニン値、HbA1c 値等）を用います。これらの収集のために新たに行う検査はございません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科 荒井岳史（研究責任者）

〒010-8543 秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2

電話番号：018-884-6135

-----以上